

自分らしい生き方 応援します!

問い合わせ先
男女共同参画推進室

はじめよう、ワーク・ ライフ・バランス



～バランスよく有効に「時間」を活用～
ワークライフバランスとは、「仕事」と子育てや親の介護、地域活動などの「仕事以外の生活」との調和がとれ、その両方が充実している状態のことです。
現在、仕事と生活の調和の実現を目指し、官民をあげて取り組みが進められています。会社ぐるみでワークライフバランスに取り組みれば会社にもこんなメリットが生まれます。

- ・多様な従業員の定着（離職率の低下）
- ・優秀な人材の確保
- ・コスト削減（残業代など）
- ・従業員の満足度や仕事への意欲の向上

お父さんも、育児休業が取れます!

～子育てをしたくても、仕事が忙しくて子どもに関わる事ができない!というお父さんへ～
育児休業は、男女問わず、子どもが満1歳になるまでの希望する期間、取ることができます。
○うちの会社にも育児休業制度はある?



育児休業は、法律に基づき労働者が請求できる権利です。仮に勤務先に育児休業についての規定がない場合でも、申し出をすれば休業することができます。
○育児休業を取ったら、会社を辞めさせられるのでは?
育児休業を理由とした解雇その他不利益な取り扱い禁止されています。
○妻は専業主婦だけど、夫の自分が育児休業を取れる?
出産後8週以内なら、妻が専業主婦や産後休業中でも父親の休業取得は可能です。
仕事が忙しく、とても育児休業を取れるような状況ではないというお父さん。子どもや家族との良い関係づくりの第一歩として、子どもが生まれたら、まずは5日間でも休むことから始めてみませんか?

差別のない明るいまちづくり懇談会開催
人権問題は、私たちの暮らしに最も深い関係があります。それは昔から言い伝えられている迷信・因習や不当な判断・偏見など、間違つて受け止めていることが差別意識を残す要因になっているからです。このような中、地域に根ざしたさまざまな間違つた問題を正しく理解し改めていく必要があります。
そこで、私たち市民一人ひとりが同和問題をはじめ、すべての人権問題を自分のこととして

受け止め、不合理な差別に対する問題意識を高めながら「差別のない明るいまちづくり」を目指すことを目的に、懇談会を引き続き開催します。
実施時期 10月～12月
※実施日は、各区長を通じてお知らせします。
内容
・人権啓発用映像の視聴
・同和問題の起源や差別が残された経緯について認識を深めるための学習
・懇談、班別討議など
問い合わせ先 人権啓発課
各総合支所総務振興課

実施地区

菊池地区	隈府地区全域
七城地区	山崎、上水次、下水次、岡田、流川、辺田、荒牧、高田、台、瀬戸口、西郷従業員住宅、砂田西団地、雇用促進
旭志地区	小川、姫井、北桜ヶ水、南桜ヶ水、妻越、大迫、片川瀬、尾足
泗水地区	飛熊、上住吉、南住吉、北住吉、富納、永、永南、永出分、南山手、桜山一、二、三、四、五、六、七、八、九

※実施地区は、菊池、七城、旭志、泗水の4地区を、行政区ごとに3ブロックに分けています。毎年1ブロックずつ地区懇談会を実施し、3年間ですべての地域を巡回します。

特設相談日



人権擁護委員による人権相談が開催されます。相談は無料で秘密は守られます。
お気軽にご相談ください。
とき 12月8日(火) 午前10時～午後3時
ところ 菊池市中央公民館、旭志老人憩いの家、七城公民館、泗水総合支所
問い合わせ先
人権啓発課
各総合支所総務振興課

古代湖「茂賀の浦」と菊池

シリーズ⑧

古代湖「茂賀の浦」と菊池

花房台地の地層は語る(その1)

花房台地の地層を、観察してみよう

鞠智城から花房台地を眺めると、台地が平らで一直線に見える。このように平らな地形は、どのようにしてできるのだろうか。花房台地の崖では、水の中でできたことを物語る地層が見られる。道路沿いでよく見えるところをいくつか紹介しよう。

木柑子から花房台地への登り坂が4本あるが、その一番西側の坂を登っていくと、まず層理のはっきりした地層が見られる。これは粘土と砂の互層で「花房層」と呼ばれている。(写真)

この花房層は、12万年前に堆積したもので、阿蘇3の火砕流堆積物を含んでいる。最上部には、雲仙火山灰を主体にした赤粘土質火山灰を1mほど乗せている。さらに登ると軽石を多く含む阿蘇4火砕流に移行する。これは、阿蘇が4回大噴火した中の最後のもの、9万年前のものである。さらに登ると横穴古墳の上に黒っぽい川砂の



花房層 (木柑子)

層が1mほど乗っている。これは砂鉄を多量に含んでいる。このような地層は、海のような大きな湖水の中でしかできない。花房台地が水中にあったことを証明してくれるものである。(写真) 熊本地学委員 中原 英

おわびと訂正

広報きくち10月号24ページに掲載した古代ロマンシリーズで一部「菊池」を「菊地」と記載しておりました。おわびして訂正します。

人権同和教育シリーズ⑤

菊池市地域人権教育指導員 田崎美和

共生と人権「高齢者の人権と生活課題」提案を終えて

8月1日(土)、第5回菊池市人権・同和教育研究大会において、「高齢者の人権と生活課題」の分科会の中で提案する機会をいただき、あらためて自身自身のことを見つめる大事な時間をいただきました。今までの私自身をふりかえりながら、あらためて文字で綴ることを通して、自分のことが整理されていく時間だったように思います。そして、これまでの出会いを通して、一歩をふみだす元気をいただきました。

「高齢者の人権」にはどんな問題があるのだろうかと考えた時、介護・介護予防・生きがい・社会参加・生活費に関することなど幅広いものが考えられました。そんな中で、どんなことがあろうと私を見守り、一生懸命に育ててくれた亡き祖母のことが思い出されました。菊池市に住み13年になりますが、部落差別をはじめあらゆる差別をなくしていくなかまとの出会いの中で、亡き祖母との出会いな

おしもできたと思います。また「美子おばちゃん」とこのじいちゃんね、足とかこれくらい細かいけど、じいちゃんの手は、しわがいつぱいあって大きいけん」と自分の子どものつぶやきにもふれることができました。家族の一員として暮らしを支えてくれた「私のばあちゃんの手」は思い出すことはできませんが、地域の高齢者の皆さん方に子どもたちを豊かに育ててもらっていることに、感謝の気持ちでいっぱいです。

さて分科会では、ある介護をされている人のお話で、見舞いに行くとき手をしっかりとぎらる姿に「毎日、会いに行きたいと思うんです」といった生の声や色々ありながらも最期を迎え感じられたこと、ホスピス病棟でお父さんと缶コーヒを飲みながら会話されたことなどを出していたいただきました。そんな時間を参加者の人々と共有できたことは、これからの私にとっても大切な時間でした。

提案後のある日、マザーテレサの言葉を思い出しました。それは「愛の反対は無関心」という言葉です。「相手を尊敬するとはどんなことなのか?」「尊敬することで差別を無くすとはどんなことか?」とこれまで考

えてきましたが、尊敬することとはその人の思いを知ることであり、その人のがんばりに気づくことではないかと強く感じました。

今、私たちが高齢者の人権問題を考えることは、未来の私たちを考えることでもあります。私はこれからもすすきな出会いを大事にしていきたいし、さまざまな状況があるからこそ、温かくつながり、つながっていくことのすばらしさを、次世代の子どもたちにも伝えていきたいと思えます。人とのつながりの中で、ぶつかることもありますが、出会いの中で学び、人とのつながりの中で私自身元気をもらっています。今回提案の機会をいただき、参加者の人々の思いにふれることで、あらためて多くを語らず、我慢強く、頑固で、穏やかで…そんな亡き祖母のことを思い出しました。人生の先輩である人々のがんばりや人としての温かさに気づかせてもらいながら、周りの人々とのつながりを大切に、現実に向きあいながら、おおらかで元気に生きていきたいと思っています。ありがとうございました。